



「Harmony」では、大原綜合病院と連携していただいている医療機関をご紹介します。

今回は、在宅医療と介護を包括的に提供し地域包括ケアの先駆者でもあります、掛田中央内科のご紹介です。

～全国から見学に来る在宅医療と介護の融合モデル～

掛田中央内科 理事長 高野 俊夫 先生

—先生のご出身はどちらですか

福島市の上島渡で、西インターの近くです。

—霊山町に移り住んでから、どのくらい経ちますか

30歳の時に結婚し、妻の実家である霊山町に養子として来ました。妻の父は開業していましたが、病気のため、59才で亡くなりました。現在、後を引き継ぎ二代目となります。



—掛田中央内科は、多くの在宅介護事業所、小規模多機能型居宅介護、グループホーム等を展開しています。当然ながら、ご苦労もあると思います

いろいろと苦労はしてきました（笑）。最近、事業所が増えて、各事業所はそれぞれに自立して頑張ってきていますが、その環境を整える「管理部の体制」がそれに追いつかない印象がありました。しかし現場で所長を経験したものが本部に入り人員が増えたので、ようやく形になってきたように思います。今週に何に取り組むかを「段取り会」で決めることでやっと、フットワークが良くなったと思います。各事業所はそれぞれに自立が「必須」です。事業所が増えると本部が細かい所まで監督することはできません。各事業所の所長は、事業計画や稼働率や経理結果を発表する機会がありますが、最近発表内容も充実してきて自立が見えてきました。副管理者の立場の成長を促し、突然に管理者になっても困らないような仕組み作りも心がけています。職員教育は、各所長に任せているのが現状です。医療と介護の国の動向についての教育は、東京の会社からアドバイスを受けることが出来る体制があります。今年は「キャリア段位制度」にとりくみ、職員のがやりの感じないようにして、職場に人材が集まってもらえるようにしたいと思います。

指定定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所ひまわり 管理者 坂田 悦子さん

事業管理部副部長 管理・総務課主任 菅野 淳一さん

—チームワークを良くするコツは何ですか

情報を共有し、みんなが同じ方向を見られるように気をつけています。会議を通して自分の事業所だけでなく、法人は今何をしているのか、今後どうするのかを理解してもらいます。法人の経理資料なども所長、副所長には会議ですべて公開しています。会議では自分達の事業所が赤字なのか、黒字なのかも分かります。稼働率が下がっている事業所について、一緒に対策を立てることにつながっています。



—職員が多いとスタッフ間の交流も課題となりますが、どのような工夫をしていますか

所長は、毎週月曜日の朝に「1週間朝礼」というのがあります。そこで所長は「今週の予定と先週の稼働率」の報告をします。これで所長は法人全体の動きを感じてもらえます。他に、毎週「運営会議」という経営に関する会議があります。ここには所長と副所長が参加し、事業所の経営状況を審議します。他に、月に2回「全体会議」というのがあります。実際に顔をあわせる機会があることが連携に有効だと感じています。他の行事に、忘年会や花見や薬局が参加するボーリング大会などがあります。



—所長と副所長のポジションがとても重要ですが、役割はどのようになっていますか

各事業所の所長と副所長には会議等を通して、法人の方向性を示すようにしています。そして、経理の数字も部門別に細かく示し、経営意識を持つよう数字の意識化に取り組んでいます。副所長の役割は、所長のサポートです。事業所の改革は所長一人では無理なので、副所長が同じ意識をもてるように参加してもらいます。

法人としての勉強会等も行いますが、各制度や介護報酬については事業所毎に勉強をしてもらいます。事業所の運営については、所長が年度の初めに全員で事業計画を立案し、その結果を年1回、運営会議で発表をします。



—そのような環境の中で職員の仕事へのやりがいは高い印象です

掛田中央内科は田舎の診療所ですが、職員もやりがいを感じていると思います。高齢化社会を乗り切るために「地域包括ケアシステム」の構築に、皆で取り組んでいるからです。国の高齢化対策の方向性にしっかり一致できています。今後、地域に絶対必要な仕事に取り組んでいるので、働く意義というのが理解でき仕事を楽しんでいると思います。例えば訪問看護でも単に訪問するだけではなく、日常的に各家庭の問題点が自然と出て皆で話し合いができます。



次号では掛田中央内科がどのようにして、「医療と介護の融合」を図っているのかを特集します。

新任医師の紹介

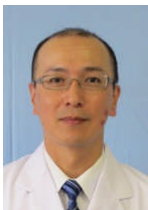
10月より赴任しました医師をご紹介します。



【大原綜合病院】

- 氏名：植松 学（うえまつ まなぶ） ■ 担当診療科：呼吸器内科 ■ 出身地：静岡県沼津市
- 出身医局：福島県立医科大学 呼吸器内科

【コメント】初期研修を4期性として大原綜合病院で終了し、現在医師8年目となりました。まだまだ内科医として未熟ではありますが、地域医療支援病院の一員という自覚を持ち精一杯診療に従事致しますので、よろしくお願い致します。



【大原医療センター】

- 氏名：櫻井 薫（さくらい かおる） ■ 担当診療科：腎臓内科 ■ 出身地：千葉県銚子市
- 出身医局：福島県立医科大学 腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科

【コメント】10月から大原医療センターに赴任しました。大学では主に腎臓・透析を専門としておりましたが、これまで学んできた知識と経験を生かしながら、更に内科医としての幅を広げてゆくことができるように努めてまいりたいと思います。一日でも早く当院のスタッフとして地域の皆様方のお役にたつことができるよう、精進したいと思いますので、よろしくお願い致します。